

第3回 市民ワークショップ ＜説明資料＞

～公共施設等総合管理計画について～

CONTENTS

－目 次－

1.	草加市の現状について(おさらい)	1
2.	公共施設等総合管理計画について	8
3.	今までのワークショップでいただいたご意見について	10
4.	市民ワークショップの内容について	11
5.	市民ワークショップの進め方	15

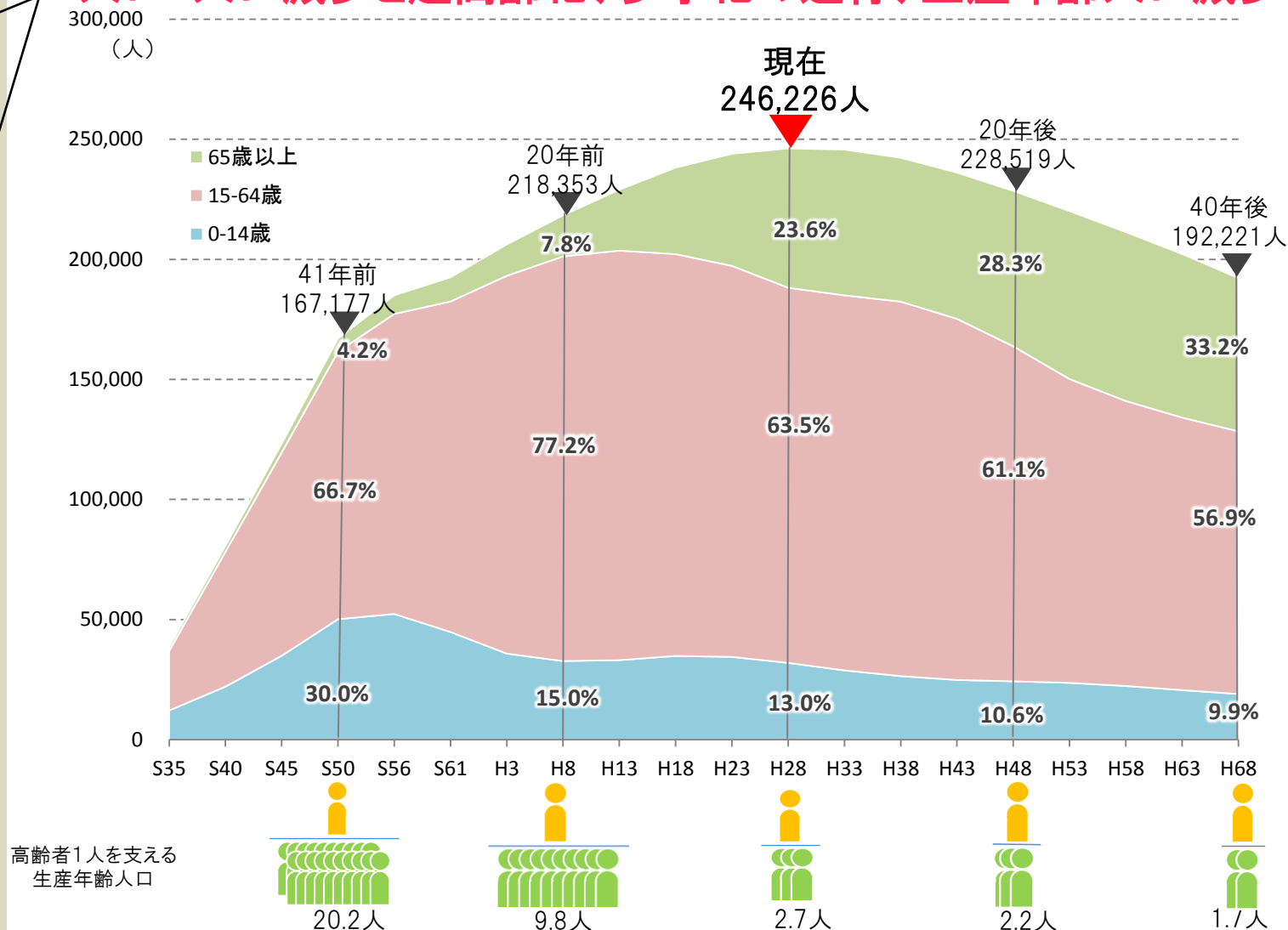
平成29年1月

20年後には65歳以上の人口が28%を超え
40年後には33%を超えます。

草加市の現状と将来推計①

※グラフの出典は、明記されていないものについては『草加市統計データブック2016』

人口：人口減少と超高齢化、少子化の進行、生産年齢人口減少

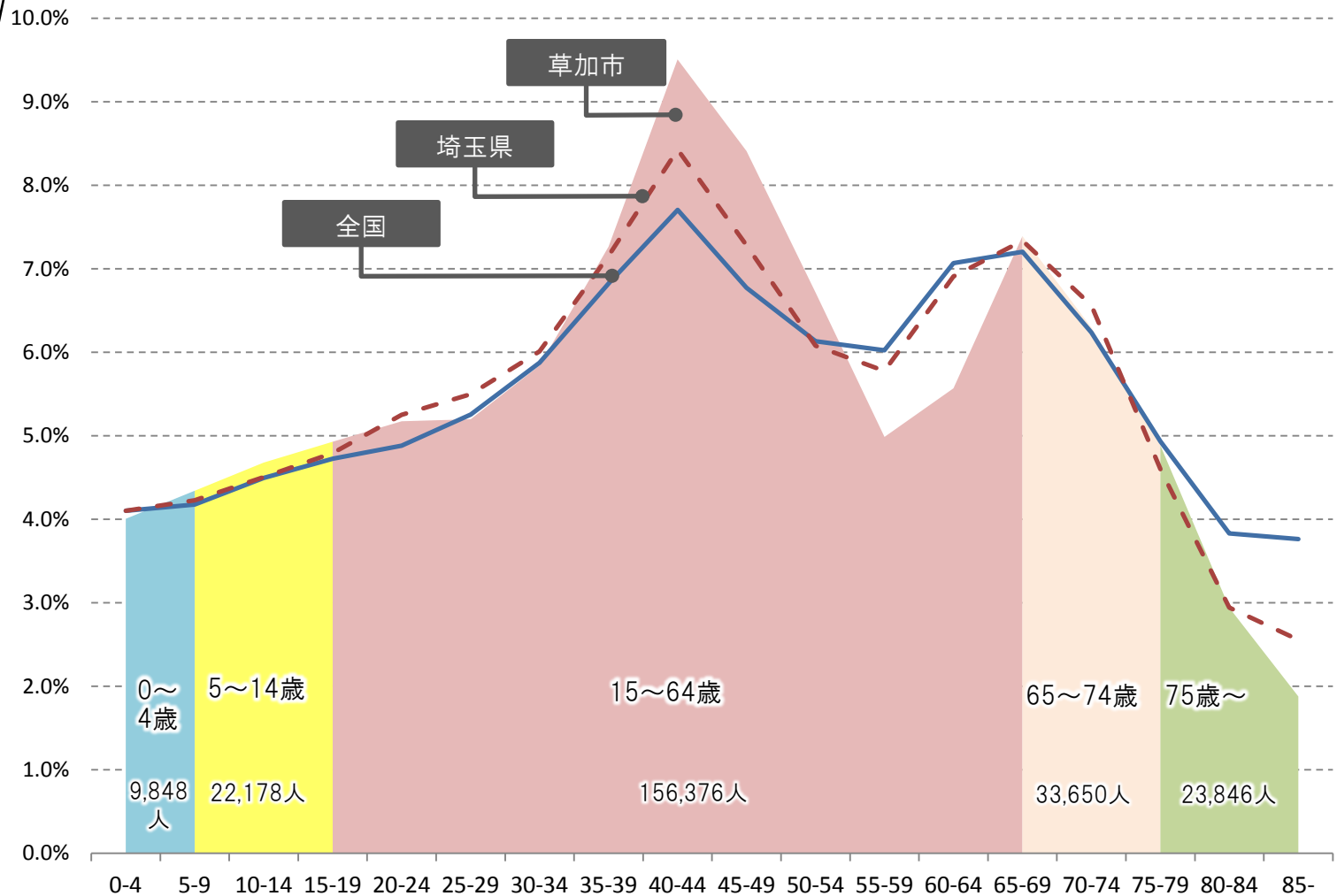


これまで草加市の総人口は増加を続け、平成28年4月1日現在で246,226人に達しています。
一方今後、総人口は減少に転じ、老年人口の増加と年少人口及び生産年齢人口の減少が予測されています。

草加市の現状と将来推計②

団塊ジュニア（生産年齢人口）が多いのが草加の特徴。その世代が高齢化する前に何とかしなくてはいいけません。

□人口：全国、埼玉県との比較

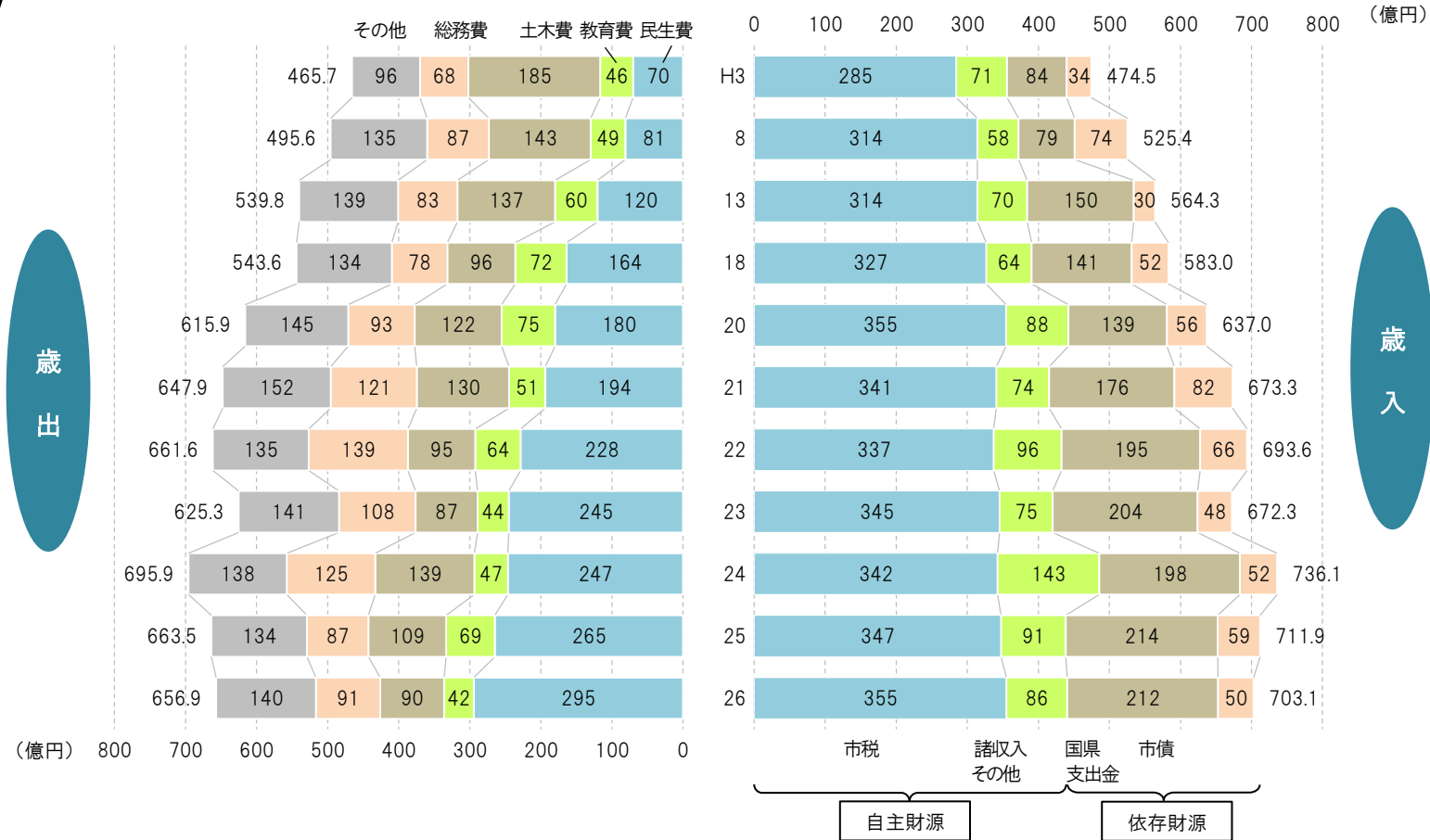


草加市の人口構成は、全国・埼玉県と比較すると、30歳～40歳代の比率が高く、50歳～60歳代前半及び75歳以上の比率は低くなっています。

草加市の現状と将来推計③

将来は人口減少と高齢化が進み
 税収増は期待できません。

行政コスト: 持続可能な財政の確立



資料: 各年度決算書

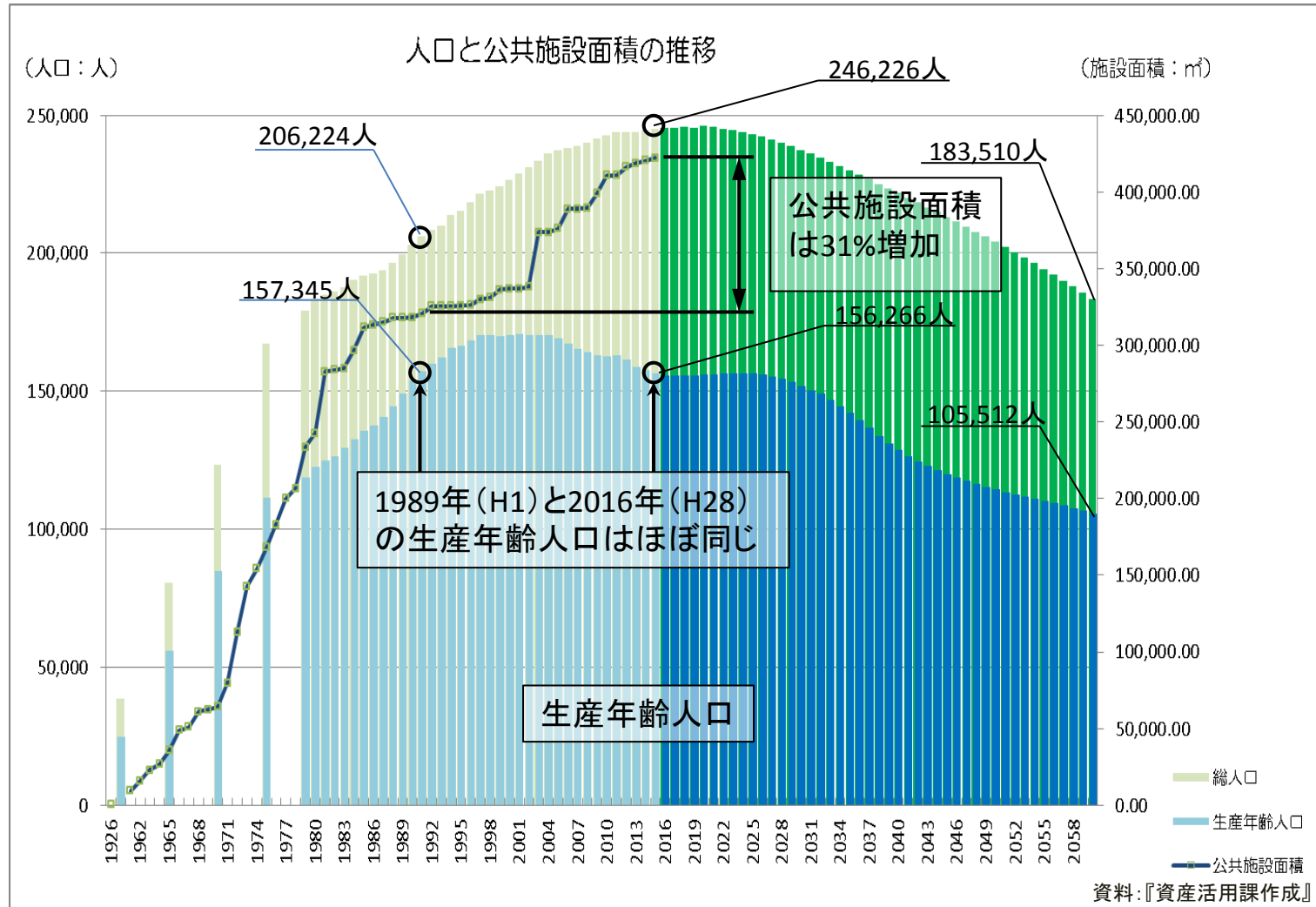
歳入については、市税などの自主財源は増加している一方で、国県支出金などの依存財源の割合も高なっています。

歳出については、福祉や子育て支援などの事業を行う民生費が年々増加しているのに対し、道路工事などの事業を行う土木費は減少傾向にあります。

草加市の現状と将来推計④

□人口と公共施設面積：持続可能な財政の確立

現在の生産年齢人口は平成3年とほぼ同じ。
しかし、公共施設は3割増えています。

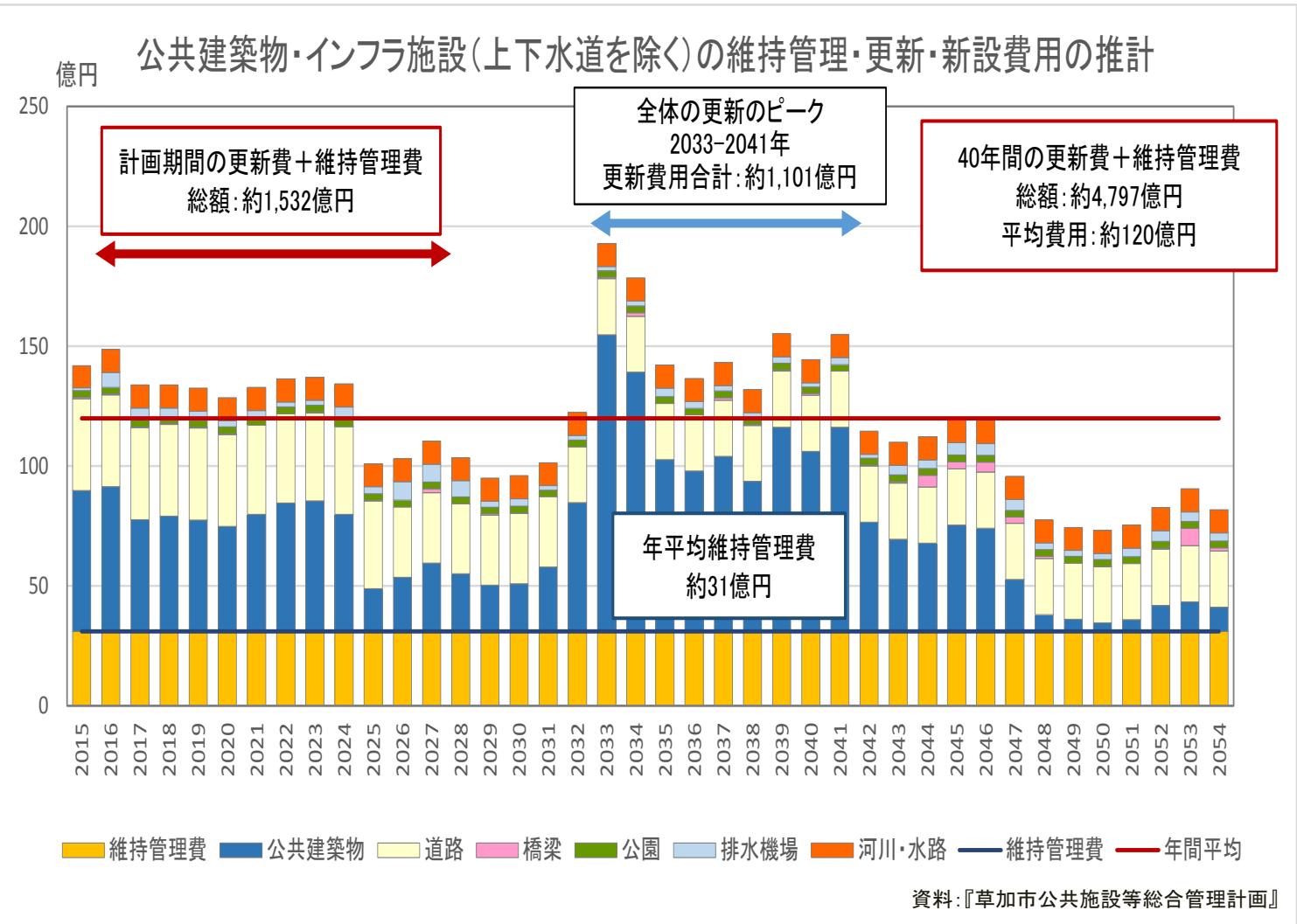


現在の生産年齢人口は、27年前とほぼ同じ水準だが、公共施設面積は31%増えている。
今後、人口減少に伴い、税収の増加が見込めない中、公共施設の総保有量の適正化が必要。

草加市の現状と将来推計⑤

□公共施設：公共施設の維持・更新に必要な経費

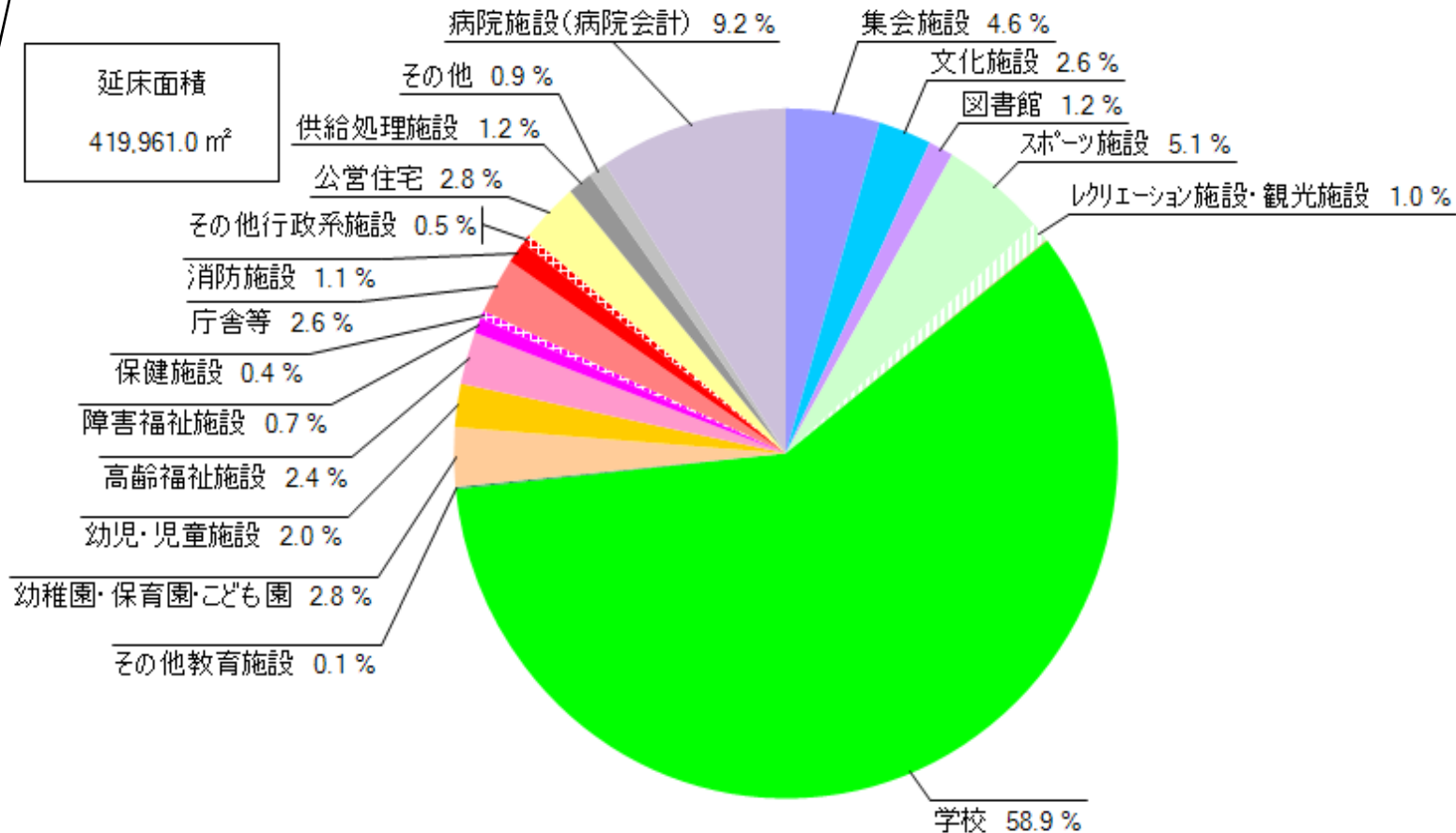
このままでは、公共施設を適切に維持していくことが難しい状況です。



現在の公共建築物の延床面積とインフラ施設をすべて維持した場合、更新及び維持管理にかかる費用は40年間で約4,797億円で、年平均にすると約120億円(市のH28年間予算約715億円の17%)と試算されます。

草加市の現状と将来推計⑥

□公共施設：草加市の公共施設の類型別床面積比率



資料：『草加市公共施設等総合管理計画』

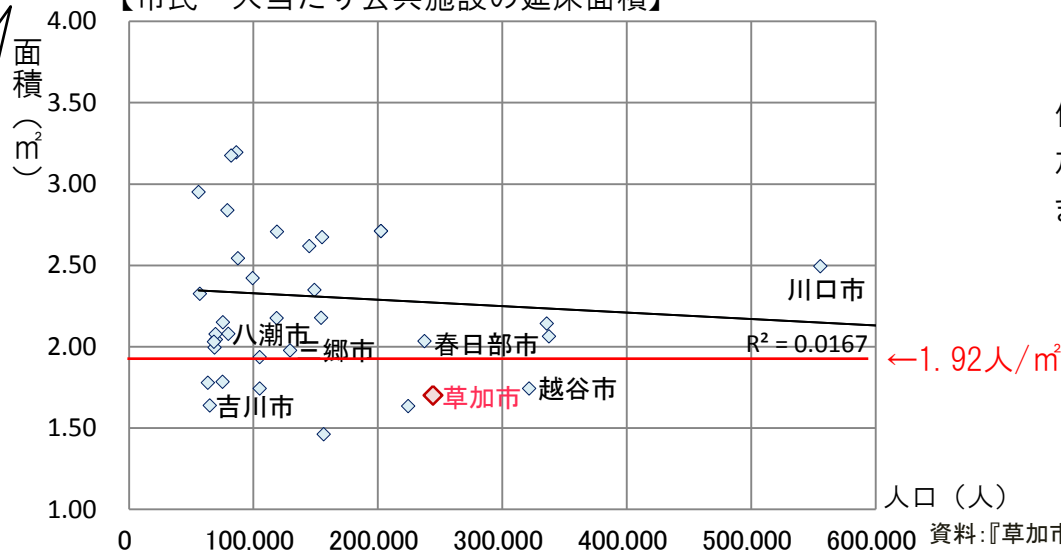
多様な機能を持っている学校が
公共施設床面積の約6割を占めています。

草加市の公共建築物の延床面積のうち約6割を学校が占めています。一方、児童生徒数は減少し始めています。多様な機能を持つ学校の活用がこれからの「鍵」となります。

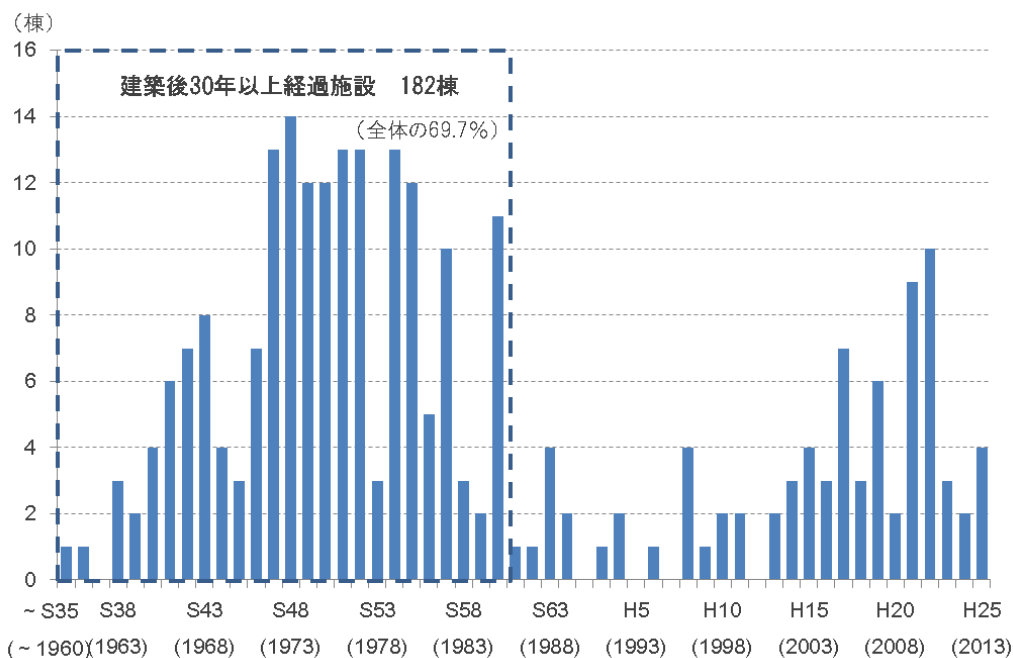
草加市の現状と将来推計⑦

他の自治体と比較して公共施設が少ない上に老朽化も進んでいます。

【市民一人当たり公共施設の延床面積】



人口25万人以上の自治体の平均1.92㎡に対し、草加市では約1.7㎡となっています。



昭和40年代以降の急速な人口増加に併せ、下水道、道路などのインフラや公共施設の整備を進めてきましたが、こうして整備した施設などの老朽化も進んでいます。

草加市公共施設等総合管理計画における基本方針

□公共施設の「量」を見直す ～ムダを省く～

① 公共施設の保有総量の適正化

あまり使われていない施設については、積極的に集約・複合化や廃止をすすめ、市の**公共施設の保有総量を適正**にしていきます。

② 新たな公共施設の建設は既存施設のスクラップ＆ビルドを条件

公共施設の保有総量を適正にするため、新しい公共施設をつくる場合には、**同じような施設を複数廃止(スクラップ)し、新しく建設(ビルド)する施設に集約**することを条件とします。

□公共施設の「質」を見直す ～空間活用の工夫～

③ 公共サービス内容の吟味と民間サービスの活用

行政が行うべき公共サービスと民間等にゆだねるべきサービスを仕分けして、さらなる**官民連携を検討**します。また、施設の利用料についても見直し、市民の負担を公平にします。

草加市公共施設等総合管理計画における基本方針

④「1施設・1機能」の縦割型サービスからの脱却

ひとつの施設に複数の機能を盛り込む「**1施設・多機能**」化を積極的に進めることで、施設を合理的に利用できるようにするとともに、機能どうしの連携などにより公共サービスの質を向上させます。

⑤ フルセット配置から地域特性に応じた配置へ

10のコミュニティブロックごとにまったく同じように公共施設を配置する「フルセット配置」はもはや困難であるため、地域ごとのニーズを踏まえて必要な機能を誘導することで、地区にとって使いやすい地区拠点の形成を目指します。

□公共施設を「長く」使う ～長寿命化～

⑥「長寿命化」の推進によるコスト削減

施設の建替えや大規模な改修に係る費用をできるだけ少なくするため、計画的に補修を行い、安全性を確保しながら、できるだけ長く建物を使い続ける「**長寿命化**」を進めます。

今までのワークショップでいただいたご意見について

- ワークショップで寄せられたご意見については、「市民から寄せられた留意事項」として『公共施設等総合管理計画』に反映してまいります。
- 第1回ワークショップでは、基本方針についてご意見をいただきました。キーワードで分類・整理してあります。
- 第2回ワークショップでは、学校を例に、施設の「使い方」についてご意見をいただきました。
- それぞれの会でいただいたご意見は、別冊の資料として机に配布してあります。
- 量が多いので、本日は主なご意見について、計画への掲載（案）の概要を紹介させていただきます。

キーワード分類	方針	計画への掲載(案)
アクセス	①	施設が遠くなると高年者等の利用がしにくくなるため、公共交通網の整備や駐車場の整備などの移動手段の確保や、徒歩圏内で様々な活動ができる場を確保することなども合わせて検討することが必要である。
民間活用	③	行政が責任を持ってサービスを提供すべきものと、民間がサービスを提供してもよいものを明確にするとともに、民間が運営する場合も、サービスの質や使い勝手の低下、利用料金の上昇を招かないようにすることが必要である。
学校の活用	④	学校に機能集約するにあたっては児童・生徒の活動への影響や安全性の確保に配慮するとともに、地域と児童・生徒との交流などの視点を踏まえることが必要である。
コミュニティ	⑤	コミュニティの維持・向上の視点から、気軽に集まれ、交流が生まれる場を確保していくことが必要である。

第3回市民ワークショップについて

～市民ワークショップの主な話し合いの内容～

第1回
草加市の公共施設の現状と
課題について学ぼう！

第2回
公共施設の機能などについて
考えよう！

第3回(1月)
第2回の話し合いをふまえて、
公共施設の配置などを考えよう！

3回目は配置
について考える
予定でした

当初は、3回の市民ワークショップの中で、公共施設の配置を検討したいと考えていました。

しかし…

ワークショップで皆さんからのご意見を伺う中で、このテーマは丁寧に議論する必要性を感じ、「機能」について掘り下げてご意見を伺いたいと考えました。

そこで…

前回(第2回)は、**学校を例として**ご意見をいただきました。そこでいただいたご意見を踏まえて、今回(第3回)は、学校以外の公共施設について「どのような使い方(機能)ができるのか」について議論していきます。

第3回市民ワークショップについて

□ 第3回ワークショップで話したいこと

□ テーマ：公共施設の機能について

身近な施設（公民館やコミセンなど）の有効活用を考える

□ 身近な公共施設である公民館・文化センターやコミセンなどを例として、組み合わせると便利になるような使い方はないか。

- 公民館でこんなことができる（＝機能）と利用したくなるね
- コミセンでこんなサービスがあると便利だね、利用したくなるね
- ○○ができると地域の魅力向上やコミュニティの活性化につながるのでは

□ このような視点でご意見をいただきたいと思います。

第3回市民ワークショップについて

□ 第3回ワークショップの目的

□ 機能の「組合せ(＝親和性)」についてのご意見を いただきたい。

- ・将来、公共施設を多機能化する際に、「この機能(＝使い方)とあの機能を同じ施設で提供すれば、それぞれの効果が高まる。」という組合せ(親和性)を見つけ出しましょう。
- ・本日、皆様からいただいたご意見は、すぐに実行に移せるものではありませんが、記録として残し、ホームページで公開いたします。それらは、公共施設についての検討を行う際の貴重な材料として役立てたいと考えております。

第3回市民ワークショップについて

□第3回ワークショップのテーマ

「機能の組み合わせ」と言っても、すぐに話し合いができるものではありません。

そこで、他の自治体の事例を調べましたのでご紹介します。
すでに多くの機能を取り入れた公共施設がありましたので、それらが参考になると考えました。

- 事例①：公民館＋出張所＋地域包括支援センター＋児童センター
- 事例②：コミュニティセンター＋図書館分館＋老人福祉センター
＋地域福祉センター＋児童館
- 事例③：青少年センター＋図書館＋市民活動センター
- 事例④：小学校＋老人福祉センター＋公民館＋学童保育

草加市公共施設等総合管理計画

第3回 市民ワークショップ

＜ワークショップの進め方＞

2017年1月

本日の時間割

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 挨拶・趣旨説明等(5分) | 19:00～19:05 |
| 2. 資料説明(20分) | 19:05～19:25 |
| 3. 進め方の説明(10分) | 19:25～19:35 |
| 4. グループ討議(60分) | 19:35～20:35 |
| 5. 発表,全体討議 (20分) | 20:35～20:55 |
| 6. 連絡事項・閉会(5分) | 20:55～21:00 |

1 本日の目標

市内の

小中学校以外の公共施設で

どんなことができるといいか

について意見を出し合いましょ
う。

2 模造紙のとりまとめイメージ

1班

参加者:〇〇, 〇〇, 〇〇, 〇〇, 〇〇〇

2017年1月19日 第3回市民WS

施設

できるといいこと・その理由

公民館, 文化センター

コミュニティセンター
市民活動センター

文化会館
アコスホール

中央図書館

市民体育館, 記念体育
館, 市民温水プール

⋮

できるといいことは
黄色い付箋に

その理由をピン
クの付箋に

この2つは必ず
検討します。

3 意見交換の進め方(1)

- 学校以外の公共施設で**できるといいこと**について考えましょう。
- できるいいことを考えるにあたっては、現在の使い方にこだわらず、こんなことができるいいという発想で考えてみましょう。
- できるいいことは、次の視点を重視して考えてみましょう。

- ① **色々な人が利用したくなるにはどのようなことができるいいか。**
- ② **「まち」や「ひと」が元気になるためにはどのようなことができるいいか。**

- できるいいと思った**理由**についても考えましょう。

3 意見交換の進め方(2)

■ 例1

できると いいこと	<コミュニティセンター> ●障がい者などが働くカフェ
理由	●地域の人が気軽に集まれるから ●地域に障がい者の働く場ができるから

■ 例2

できると いいこと	<公民館・コミュニティセンター> ●中高生が思い思いに活動できる場
理由	●地域で静かに勉強できる場があるとよいから ●若い世代の地域への愛着が醸成されるから

3 意見交換の進め方(3)

■例3

できると いいこと	<図書館> ●小さい子どもたちを見ってくれる託児サービス
理由	●子育て中の親もゆつくりと本が読め、リフレッシュできるから

■例4

できると いいこと	<高齢者福祉施設> ●高年者と子どもが交流できる場
理由	●高年者の生きがいづくりにつながるから ●地域での世代を超えた交流が進むから

■意見交換での注意事項(お願い)

- 意見は必ず付箋にご記入ください。付箋に書かれていない意見は記録として残りません。
- 1枚の付箋に記入する意見は1つに。
- 限られた時間の中で全員が発言できるよう、発言は手短に。
- 他の参加者の発言をよく聴き、自分の考えを広げましょう。
- 互いを勇気づけ、意見を言いやすい雰囲気をつくりましょう。